

# 北海道社会学会ニュース

## H.S.A.NEWSLETTER

発行：北海道社会学会事務局  
〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル  
北海道NPOサポートセンター気付  
FAX: 011-261-6524 E-mail: socio@npo-hokkaido.org 担当 金城  
郵便振替口座 02760-3-3085 ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/hsa>

HOKKAIDO SOCIOLOGICAL ASSOCIATION  
c/o Hokkaido NPO Support Center,  
Kuwagata Bldg., Minami 2 Nishi 10, Chuo-ku, Sapporo, 060-0062 JAPAN  
Newsletter Editor: HIRASAWA Kazushi

編集責任者：平沢和司（庶務理事） 北海道大学大学院文学研究科 hirasawa@cme.hokudai.ac.jp  
〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目 TEL 011-706-3322（直通） FAX 011-706-4801（事務室）  
＜ニュース（No.70以降の各号）のほぼ全文が学会ホームページでPDFファイルとして公開されています＞

### 次回の北海道社会学会大会について

第57回北海道社会学会大会は、2009年6月27日（土）・28日（日）に、札幌学院大学（江別市）で開催されます。今回は2日間にわたっての開催となります。なお大会プログラムはニュース次号（5月発行予定）に掲載します。

### 次回大会のシンポジウムについて

テーマ：「地域再生と社会学」

2008年後半から始まったグローバル金融経済の危機により、様々な業種において企業の業績悪化や雇用の不安定化が進行しています。しかし、世界不況が始まる数年前より、過疎に悩む地方自治体の財政赤字は危機的状況にあり、医療・福祉の両面において行政支援の基盤が脆弱化しておりました。

北海道社会学会では、これまでも何度か地域社会の問題解決に寄与する社会的知見の検討を学術大会で行って参りましたが、この度は、町や村が消滅の危機に瀕している北海道社会の現状を踏まえて、社会学は何を問題として捉え、どこに解決の糸口を見いだせるのかを再び考えてみたいと思います。

報告者には北海道社会学会会長の笹谷春美先生、限界集落論の提唱者として著名な大野晃先生をお迎えし、農村社会・地域福祉に詳しい小内純子先生にコメンテーター役をお願いしました。

多くの方が来場され、議論に参加されることを期待します。

報告者：

「自治体の財政破綻と公的ケア制度の再編が高齢者ケアにもたらす影響－夕張市の事例調査から－」  
笹谷春美（北海道教育大学）

「山村集落の現状と地域再生－限界集落問題を中心に－」

大野 晃（長野大学）

司会： 松岡昌則（北海道大学）  
コメンテーター：小内純子（札幌学院大学）  
（研究活動委員会委員長 櫻井義秀）

### 一般報告の申し込みと報告要旨の提出について

一般報告をご希望の方は、下記の要領に従って、(1) 報告の申し込みと(2) 報告要旨の提出をお願いいたします。またシンポジウムの報告者も、(2) 報告要旨の提出をお願いいたします。

#### (1) 一般報告の申し込み

- ①本学会ホームページより「報告申込書2009」（Word版）をダウンロードしてください。
- ②同用紙に必要事項を記入のうえ、事務局（担当：金城、e-mail: socio@npo-hokkaido.org）まで電子メールの添付書類でお送りください。ファイル名は「報告申込書2009○○○○.doc」（○○○○は報告代表者の氏名の漢字表記）としてください。
- ③申し込み期限は**4月17日（金）**（必着、期限厳守）とします。これまでに2008年度（08年5月請求）までの会費を完納してください。完納されていない場合は発表できません。
- ④事務局は申し込みのメールを受領後、その旨の返信メールをお送りします。数日たっても返信メールがない場合は事務局へご確認ください。

#### (2) 一般報告・シンポジウム報告要旨の提出

- ①以下の書式でWordによって報告要旨を作成し、大会校の高田洋会員（e-mail: htakada@sgu.ac.jp）まで添付書類でお送りください。ファイル名は「報告要旨○○○○.doc」（○○○○は報告代表者の氏名の漢字表記）としてください。なお、タイトルや報告者は、報告申し込み時と完全に一致させてください。この段階での変更は認められません。

【書式】A4版1頁40字×40行を2頁までとします。1枚目は上7行に、報告のタイトル<14ポイント>（必要

に応じて副題<12ポイント>)、所属と氏名<12ポイント>を記入して下さい。本文は<10.5ポイント>でお願いします。文字フォントは、和文は明朝体、欧文はcenturyを使用し、ページ設定における余白は、上25ミリ、下25ミリ、左25ミリ、右25ミリにしてください。なお、要旨集のフォーマットは北海道社会学会のホームページよりダウンロードできます。

- ② さらに①による原稿を印刷し、折らずに下記まで郵送してください。原則として、郵送された原稿をそのまま印刷に用います。

送り先：〒069-8555 江別市文京台11 札幌学院大学  
社会情報学部 高田洋会員あて

- ③ ①添付書類および②打ち出し原稿の提出期限は、いずれも**5月15日(金)**(必着、期限厳守)とします。

### 役員選挙の実施について

会則第11条～14条ならびに選挙規則にもとづき、4月以降に役員(会長・副会長、理事、監事)選挙が行われます。選挙の有権者は、本年4月1日現在で2008年度会費(2008年5月に初請求)を完納されている会員です。選挙に関する詳細ならびに投票用紙等は、4月に入りましたらお送りします。

### 2008年度第2回理事会報告

日時：2009年2月17日

会場：北海道大学文学部 E308 室

### 報告

#### 1.庶務報告(平沢庶務担当理事)

科学技術振興機構(JST)のホームページに『現代社会学研究』1～20巻のほぼ全文が掲載される件について、準備の進行状況が報告された。

#### 2.研究活動委員会報告(櫻井研究活動委員長)

第57回大会のシンポジウムの準備状況ならびに一般報告の申し込み締切日等に関する委員会案が報告され、その通り了承された。

#### 3.編集委員会報告(内田編集委員長が欠席のため小内透副会長が代読等で説明)

第22巻の編集状況が報告された。

### 議題

#### 1.選挙管理委員会の委嘱について

審議の結果、会則第21条・第22条ならびに選挙規則第3条にもとづき高橋徹会員(札幌学院大学)に委員長を、猪瀬優理会員(北海道大学)に委員、平沢和司会員(北海道大学)に理事委員を委嘱することが決議された。

#### ホームページの充実について

昨年8月に本学会ホームページのデザインを一新するとともに、コンテンツを充実させました。これまでの入会案内をリニューアルしたほか、あらたに会長挨拶、学会概要、投稿案内、大会案内を掲載しました。従来通り過去のニューズレター・会則・役員名簿等の閲覧や、大会報告申し込み用紙のダウンロードなどもできます。ぜひご活用ください。URLは本ニュース1ページのタイトル下に掲載されています。なお、ホームページのリニューアルおよび更新に関しては、猪瀬優理会員(北海道大学)にご協力いただいています。

#### 会員異動(2008年12月～09年2月)

《新入会員》(氏名・所属・会員種別、敬称略)

(ホームページ公開版では省略)

#### 会費の納入について

2008年度(以前)の会費が未納の方には、郵便振替用紙[郵便振替口座 02760-3-3085]が同封されています。年度末を迎えておりますので、すみやかにお振り込みください。年会費は一般会員6,000円、学生・院生会員4,000円です。2008年度までの会費を完納された会員にのみ『現代社会学研究』第21巻(昨年6月発行)を配布しております。未納の会員には、会費の完納が確認され次第、郵送いたします。5年間滞納されると、自然退会の扱いとさせていただきます。